

分野名：青少年教育

ボランティアと一緒に考える体験活動

～みんなが笑顔になるには～

遠賀町教育委員会生涯学習課【公立公民館】
社会教育係長 二宮 譲

1. 事業名

活動体験教室「サバイバルマスターへの道」

2. 事業の目的

コロナ禍で減った体験活動を！

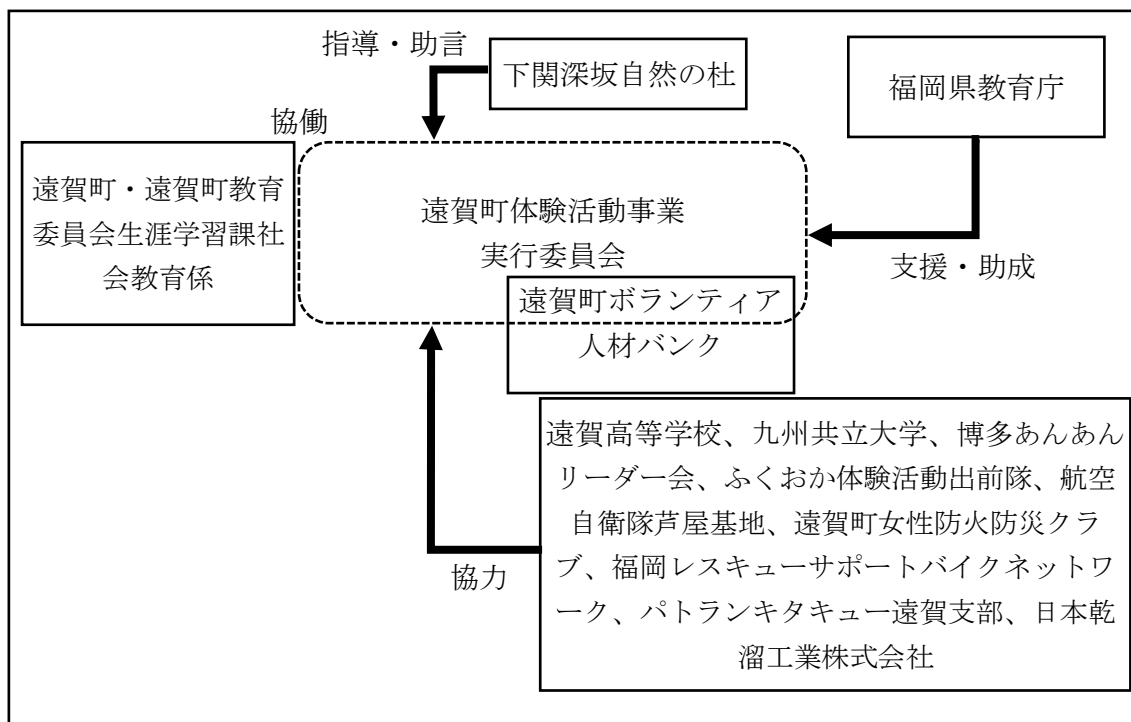
創意工夫する力、みんなで協力する力、災害発生時の対応力を養う！

3. 事業の主体

遠賀町教育委員会・遠賀町体験活動事業実行委員会

4. 連携・協力機関・団体等

下関深坂自然の杜、遠賀町ボランティア人材バンク、遠賀高等学校、九州共立大学、博多あんあんリーダー会、ふくおか体験活動出前隊、航空自衛隊芦屋基地、遠賀町女性防火防災クラブ、福岡レスキューサポートバイクネットワーク、パトランキタキューー遠賀支部、日本乾溜工業株式会社、福岡県教育庁



5. 事業予算

154,000 円（謝礼）135,000 円（消耗品費）7,000 円（医薬材料費）30,240 円（郵送料）「鍛ほめ通学合宿」の在り方に関する調査研究事業委託費 100,000 円

6. 実施に至る経緯

コロナ禍+予算削減で事業ができない！（こどもまつり、通学合宿等）

子どもたちの体験活動の機会が激減！

自分たちだけで考えていてもいい事業はできない→みんなで事業を考えよう！

→ボランティアと一緒に事業を考えてみた

「もっと子どもに体験を～さぁみんなで考えよう～

こども体験事業企画ワークショップ コロナに勝つ企画にチャレンジ&NEXT」(R03.10.02、10.24)。



7. プログラム作成の視点

視点：テーマや目標を達成する内容になっているか。

テーマ：「防災」に関する様々な体験活動。

目標：防災に関する目標を複数設定し、目標に合った体験活動を考える。

⇒複数回の教室の開催



8. 事業の内容

避難所を想定した状態でのキャンプを行う。

事前研修として4回の日帰り教室も行う。

1回目 ゲームのサバイバル～防災を学ぼう～

内容：遠賀町ハザードマップの学習。防災ゲーム

目標：友達作り、役割分担、協調性、危険な場所を知る



2回目 避難所のサバイバル～避難所を作ろう～

内容：避難所運営ラーニング、テント立て競争、非常持ち出し品ワークショップ

目標：防災知識の習得



3回目 調理のサバイバル～キャンプ飯を作ろう～

内容：火おこし、薪割り、野外調理、水づくり、トーチづくり、キャンプファイヤー&ミニゲーム

目標：調理の知識、協調性、生きる力、筋力・体力



4回目 基地のサバイバル～自衛隊で学ぼう～

内容：災害派遣のお話し、基地探検（施設見学）、
訓練体験（ロープワーク、応急手当等）

目標：災害の知識、サバイバルに役立つ技能



5回目 キャンプのサバイバル～生き残ろう～

内容：避難所での宿泊体験、制限のある中での野外調理、
トイレワークショップ、防災紙芝居、防災バスハイク

目標：創意工夫する力、みんなで協力する力、災害発生時の対応力等



9. 事業の成果

子どもたちの笑顔、ボランティアさんたちの笑顔、職員の笑顔

10. 今後の課題

テーマと楽しさの両立

もっといろんな体験を考えたい

もっと多くの人を巻き込みたい

問い合わせ先

〒811-4392 福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀 5 1 3 番地

遠賀町教育委員会生涯学習課社会教育係

TEL : 093-293-1326 FAX : 093-293-0806

E-mail : syougaiakusyuu@town.onga.lg.jp